

アクシアル リテイリング設立10周年 グループ一体経営の更なる強化



アクシアル リテイリング株式会社
代表取締役社長・CEO

原 和彦

この度、弊社第23版となる「CSRレポート2023」を発行いたしました。皆様からのご理解、ご支援を引き続き賜りますよう心よりお願い申し上げます。

過去約3年間私たちを悩ませ続けてきた新型コロナウイルス感染対策は新たな段階に移り、新しい生活様式を模索するステージに入りました。日常生活の中では物価の値上がりが続く、至る所に影響を及ぼしています。更に、ロシアによるウクライナ侵攻が続いており、地政学リスクは高まり続けている状況です。自然環境への対応も一刻の猶予はありません。このように私たちを取り巻く環境は様々な面で不透明・不安定・不確実な状況となっています。このような状況の中であっても、私たち食品スーパーマーケットとしては、お客様に安心してお買い物をしていただけるよう、一つ一つの課題に向き合っています。

一方で、事業環境が複雑化しようとも、食品スーパーとして目指すビジョンは変わらないと考えています。アクシアル リテイリンググループとしての一体感を強め、マスメリットを生み出し、より良い商品をより廉価で提供すること、これが私たちの目指す姿です。そのために、グループビジョンとして「Enjoy! Axial Session♪」を掲げておりますが、複雑な事業環境の中で確実にグループビジョンを実現するためには、更に一体感を強めることが必要であると考え、この度原信・ナルス・フレッセイで大幅な機構改革を行いました。

アクシアル リテイリングの設立から10年が経過しますが、その設立当初の原点に立ち返り、マスメリットを創出し、豊かさ・楽しさ・便利さを提供する為に、新たな経営体制で更なるシナジー効果の創出に取り組んでまいります。

新経営体制となっても、グループビジョンで掲げた「品質経営・環境経営・健康経営・技術革新への対応、

人づくり」という基本政策を引き続き追求し、お客様に新たな価値を提供してまいります。

その一つの取り組みとして、新たな商品ブランド「Hana-well」を立ち上げました。これは社会課題への対応と事業活動が一体となることを目指し、お客様が「Hana-well」商品をお買い上げになると、そのこと自体で何かしら社会課題への対応に参加することにつながるような、エシカル（倫理的）な取り組みとして立ち上げたブランドです。品揃えは始まったばかりで、取り扱い店舗もこれから拡大してまいります。この新たな商品を大切に育ててまいりたいと考えています。

また、「環境経営」については、2023年の春より、新潟スワンエネルギー株式会社様と提携し、太陽光PPA（電力販売契約事業）モデルの取り組みを開始しました。これは新潟スワンエネルギー様が太陽光発電パネルを当社店舗に設置し、発電された電力は同店舗で買い取り、余剰電力は新潟スワンエネルギー様が新潟市の公共施設に売電するという事業モデルです。雪国では難しいと考えられてきた太陽光発電事業ですが、持続可能な社会に向けての再生可能エネルギーの活用、公共施設と連携した地域貢献、電気料金が高騰する中での収益改善と、様々な方面で意義のある取り組みと考えております。

なお昨年度、長野県に中信地区で初となる原信安曇野店を新設したほか、フレッセイ朝日町店、フレッセイ朝倉店の新設、原信古正寺店、フレッセイ館林美園店の建て替えを行い、お客様から大変ご好評をいただきました。

今後もライフラインとしての役割を果たすべく地域に密着し、持続可能な社会の実現に貢献し、地域のお客様の暮らしが少しでも良くなるよう取り組んでまいります。